

2005年度(平成17年度)第1回常務理事会記録

日時：2005年(平成17年)2月5日(土)11:00~13:30

場所：八重洲倶楽部第9会議室

出席者：廣川信隆(理事長)、河田光博、柴田洋三郎、高田邦昭、山科正平(以上、常務理事)、依藤 宏(幹事)、天野恵子、合力靖博(以上、口腔保健協会)

・会議記録の確認

1. 2004年度(平成16年度)第7回常務理事会記録、同摘録(案)
2. 2004年度(平成16年度)第3回理事会記録、同摘録、同議事録(案)

・報告事項

1. 庶務報告(高田庶務担当理事)

(1) 会員異動報告

会員異動(正会員2,195名 平成17年1月末日現在)

平成16年12月分(退会者 正会員8名、学生4名、購読3名)

平成17年1月分(入会者 正会員20名、学生11名、退会者 正会員9名)

(2) 長期会費滞納者の除名

会費4年未納の長期滞納者については、総会でその旨を掲示するとともに、支部長から連絡をとって頂き、それでも会費が納入されない場合には規定により除名となることが決定された。

(3) 平成17・18年度役員選出選挙結果

選挙管理委員会による標記選挙開票結果の報告がおこなわれた。なお、内山安男大阪大教授は理事と監事の両方に当選したが、規定により理事に就任、監事には次点の中河志朗鹿児島大教授が繰り上がることになった。関東支部では第5位に同点者が2人だったが、年長者を優先する規定により澤田元横浜市立大教授が、また中国・四国支部では、福本哲夫山口大教授および次点第1位の佐々木和信川崎医大教授から、辞退の意向が出され、次点順位第2位の石村和敬徳島大教授がそれぞれ理事に就任することになった。なお、投票率の低さ、地区別(理事)および全国区(監事)の区別の明示が次回の選挙に向けての解決すべき問題点とされた。

(4) 科研費審査委員候補者選出選挙結果

選挙管理委員会による標記選挙開票結果が報告された。

(5) 平成20年度全国学術集会開催校の決定

平成20年度全国学術集会開催校については新執行部になってから、募集を開始することが決定された。

(6) 役員(理事)交代に伴う理事会、各種委員会の運営

役員交代期の理事会等の運営、開催時期については今まで文書化されたものがなかったが、今回の事務委託先の変更に伴い明文化して残すことになった。この件に関する文書化した案が提示、承認された。

(7) 賛助会員入会・寄付申込書

前回の理事会において要望の出た標記申込書が提示、承認された。なおこの申込書は新理事会発足後、全理事に配布し、申し込みを募ること、総会においても紹介し、学会ホームページに掲載、随時ダウンロードしての使用を可能とすること、および全国の解剖学教室等に配布することなどが決定された。

(8) 解剖実習における化学物質過敏症の報道について

標記に関する週刊誌記事についての報告がおこなわれた。なお、この件に関しては解剖体委員会に検討を依頼している。

(9) 学会宛文書等

通知等 文部科学省より「疫学に関する倫理指針の改正について」「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針の改正等について」他6件の案内、お願い等が届いている。

書籍、定期通信他 5件の定期通信等が届いている。

2. 編集報告(柴田編集担当理事)

(1) 解剖学雑誌およびA S I 刊行報告

両誌79巻4号を同時発刊、発送した旨、報告があった。

(2) 平成16年度科研費補助金(研究成果公開促進費)状況報告書

学術振興会に提出する標記報告書について説明がおこなわれた。

(3) 学会ホームページ(HP)について(この項は高田理事よりの報告)

学会事務センターの倒産に伴うHPの口腔保健協会への移行の進行状況について報告がおこなわれた。なお標記HPは、現在は情報技術委員会委員長辰巳治之札幌医大教授により、仮運用されている。

(4) 解剖学雑誌著者抄録の利用許諾願い

医学中央雑誌刊行会より解剖学雑誌の著者抄録(著者キーワードを含む)の利用許諾願いが届いた。審議の結果、承認とされた。

(5) 解剖学雑誌への"Medical History"掲載

第16回国際解剖学会議において特別展示のおこなわれた"Medical History"について、解剖誌にその内容を掲載することの検討がおこなわれた。その結果、単独の特集号としての費用の見積もりを中西印刷に依頼することが決定された。

(6) その他 第16回国際解剖学会議の「京都宣言」をA S Iに、その日本語訳を解剖誌に掲載することとし、和訳を近藤尚武東北大教授に依頼することが決定された。A S I電子ジャーナル版について 学会事務が口腔保健協会に移ったことに伴い、会員番号が変更になったので、ログインID、パスワードも変更になる予定である旨、報告がおこなわれた。

3. 企画・渉外報告(河田企画・渉外担当理事)

(1) 第110回日本解剖学会総会・全国学術集会準備状況報告

大谷修会頭よりの報告書をもとに説明がおこなわれた。

(2) 平成16年度日本解剖学会奨励賞審査結果報告

応募者3名の中から投票により将来性を期待して受賞者2名を選考した旨、報告がなされ

た。受賞者は群馬大学松崎利行氏（組織学）和歌山県立医大田村志宣氏（発生学）である。なお、この奨励賞については例年応募があまり多くなく、その対策について年森清隆奨励賞選考委員会委員長より、意見書が提出された。常務理事会ではこれを受けてワーキンググループを作る等により、さらに策を練って今後役に立てることが決定された。

（３）平成１６年度日本解剖学会解剖組織技術士功労賞申請状況

平成１６年度は申請が無かった旨、報告がなされた。

（４）第４回アジア・太平洋国際解剖学会議（ＡＰＩＣＡ）について

２００５年９月７～１０日トルコ クサダシで開催される第４回ＡＰＩＣＡについて、会長の一人 Muftuoglu 氏が急逝した旨、連絡があった。日本解剖学会としては今後も様々な形でサポートしてゆくことが確認された。

４．会計報告（山科会計担当理事）

（１）支部収支報告

全国６支部の支部学術集会の収支報告書について報告がおこなわれた。

（２）第１０９回日本解剖学会総会・全国学術集会収支報告

井出千束会頭よりの報告書に基づいて報告がおこなわれた。

（３）第１６回国際解剖学会議収支概要報告

標記会議の収支概要について報告があった。なお最終的な報告は後日おこなわれる予定である。

（４）平成１６年度決算書概要（案）

最終的な決算書が作成中であるので、その概要に関して資料を基に説明がおこなわれた。

．審議事項

１．科研費審査委員候補者推薦（情報提供）について

科研費審査委員候補者推薦委員会作成の候補者案が報告され、審議の結果、原案どおり承認、理事会に送付されることになった。

２．平成１７年度永年会員推薦

候補者一覧が提示され、原案どおり承認された。

３．申請による学術評議員審査

申請の出された１２名のうち、申請書類提出が締め切り後になった３名は次年度の審査対象とすること、残りの９名について理事会で審議をおこなうことが決定された。

４．学術評議員選出規約の改訂

現行の選出規約について、不備や運用上の不具合が発見されたため、改訂案が提出された。審議の結果承認され、理事会に諮られることになった。なお改訂後は６５歳以上の学術評議員については２年ごとに継続について問い合わせることになった。

5 . 総会・学術評議員会案内

第110回解剖学会総会および学術評議員会の案内と委任状の葉書を例年通りの形式で出すことが承認された。

6 . 非会員の名簿購入希望について

非会員であるさる企業から名簿購入の希望が寄せられた。これに対しては、賛助会員は頒布の対象となるが、非会員は個人情報保護の点から、分与はしないということが決定された。

7 . 次期執行部への申し送り事項

解剖誌に関して原著は出さない、特集号、会員のフォーラムの形で続ける、ページチャージは特例を除きとらない、地方会抄録は原則として総会号に掲載 などが確認された。それ以外は、新執行部が決まってから検討するとされた。

8 . 次回常務理事会・理事会・支部長会の日程

標記に関する案が提出、審議され、一部時間を変更の上、承認された。